科学研究費助成事業研究成果報告書



令和 4年 5月23日現在

機関番号: 12601

研究種目: 新学術領域研究(研究領域提案型)

研究期間: 2016~2020 課題番号: 16H06481

研究課題名(和文)神経幹細胞の発生タイマー実行因子の解析

研究課題名(英文)Determinants of developmental timing of neocortical neural stem cells

研究代表者

後藤 由季子(Gotoh, Yukiko)

東京大学・大学院薬学系研究科(薬学部)・教授

研究者番号:70252525

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 106,600,000円

研究成果の概要(和文):大脳新皮質の神経系前駆細胞(神経幹細胞)は、発生の時間軸に従って順序よく、「増殖期」「ニューロン分化期」「グリア期」と運命転換することで正しい脳の形成に貢献する。この運命転換には「内因的な要素(タイマー)」と「外因的な要素」の両方が寄与すると考えられている。本研究では「増殖期」から「ニューロン分化期」への移行を司る因子の候補を同定し、また「ニューロン分化期」から「グリア分化期」への移行に関わるポリコーム群タンパク質の分化運命制御について新たな機構を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義 脳を作る元の細胞である神経幹細胞の運命制御メカニズムを知ることは、その異常による脳発達不全を理解する 基盤知識となる。また疾患や損傷によって失われた脳の細胞を補う再生医療、あるいは薬剤スクリーニングに用 いる疾患モデルとして特定の種類の脳細胞を培養系で作り出すことにも貢献することが期待される。また本研究 で明らかになった神経幹細胞制御因子の進化的な違いが、脳構造の進化的な差異を説明する可能性も考えられ る。

研究成果の概要(英文): A fundamental question in understanding tissue development is how resident stem cells or multipotent progenitors give rise to the various cell types in appropriate numbers and at the right locations to achieve tissue organization. Neural stem/progenitor cells (NPCs) in the mammalian neocortex initially divide symmetrically to increase their pool size (expansion phase). They then divide asymmetrically and give rise to neuronal and glial cell types in a region- and developmental stage-dependent manner and with high precision (neurogenic and gliogenic phases, respectively). In this study, we aimed to identify temporal regulators ("timers") of these fate switches of neocortical NPCs and found a factor that may drive the transition from the expansion phase to the neurogenic phase. Moreover, we found distinct suppression modes of neurogenic genes by Polycomb group (PcG) complex, which may in part explain the transition from the neurogenic phase to the gliogenic phase.

研究分野: 総合生物 神経科学

キーワード: ポリコーム 発生時間 幹細胞分化運命制御 神経幹細胞

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

大脳新皮質の神経系前駆細胞(神経幹細胞)は、発生の時間軸に従って順序良く、まず対称分裂で数を増やし(増殖期)、次に6層 \rightarrow 5層 \rightarrow 4層 \rightarrow 2/3層の各ニューロンを生み(ニューロン分化期)、その後グリア細胞を生む(グリア分化期)。1つの神経幹細胞を個別培養してもある程度の順序立った運命転換が観察されることから、神経幹細胞には「内因的な時計」が存在することが示唆されている。しかし、発生の時間に依存して神経幹細胞の運命を転換する実行因子(タイマー)の実体については不明な点が多く残されていた。我々はこれまでに、ポリコーム群タンパク質(PcG)によるエピジェネティックな制御が「ニューロン分化期」における深層(6・5層)から浅層(4・2/3層)への転換ならびに「ニューロン分化期」から「グリア分化期」への転換に主要な役割を果たすことを示してきた(Hirabayashi et al. 2009; Morimoto-Suzki et al. 2014等)(図1)。ニューロン分化期の神経幹細胞において PcG はニューロン分化遺伝子群を「仮抑制」しており、ニューロン分化誘導刺激によって PcG によるこの抑制が解除されてニューロン分化が起こる。一方、グリア分化期の神経幹細胞において PcG はニューロン分化遺伝子群を「永続抑制」しているため、ニューロン分化誘導刺激がはいっても抑制が解除されずにニューロン分化は起こらなくなる。つまり、この PcG による抑制モードの違いこそがニューロン分化できるか否かを決めるのであるが、その抑制モードの違いを司る分子機構は不明であった。

大脳新皮質神経幹細胞の発生時期依存的な運命転換について、ニューロン分化期以降の制御 メカニズムは多くの研究が行われてきた。しかし、「増殖期」から「ニューロン分化期」への運 命転換メカニズムについてはほとんど研究が行われてこなかった。その大きな理由のひとつと して、発生早期の大脳の子宮内遺伝子操作が(脳が小さいため)技術的に難しかったことが挙げ られる。ところが我々は新たに、発生早期の大脳に対して子宮内で遺伝子操作する新しい技術を 確立した。この技術を用いれば比較的簡便に遺伝子操作を行い、候補遺伝子の大脳発生早期にお ける機能を検討することが可能になった。

2. 研究の目的

大脳新皮質の神経幹細胞が、発生の時間軸に従って順序良く運命転換する分子基盤を明らかに することを目的とする。

- (1) まず、「ニューロン分化期」から「グリア分化期」への転換を司る PcG について、ニューロン分化遺伝子群をニューロン分化期に「仮抑制」するメカニズムとグリア分化期に「永続抑制」するメカニズムの違いを明らかにする。さらに「仮抑制」から「永続抑制」へと発生時期依存的に切り替わるメカニズムについても明らかにしたい。
- (2) 発生早期の大脳新皮質において、神経幹細胞の「増殖期」から「ニューロン分化期」へ の転換を司る因子の同定を目指す。

3. 研究の方法

(1) PcG の必須構成因子である Ring1 タンパク質は、ヒストン H2A のユビキチン化酵素である。我々は、Ring1 タンパク質のユビキチン化活性を完全に消失した Ring1B 変異体(Ring1B I53A/D56K)を作製し、Ring1A, B を欠損した初代培養神経幹細胞を用いて Ring1 タンパク質のユビキチン化活性の必要性を検討した。また PcG の構成因子において重合体を作る性質のある Phc2 の機能についても検討した。

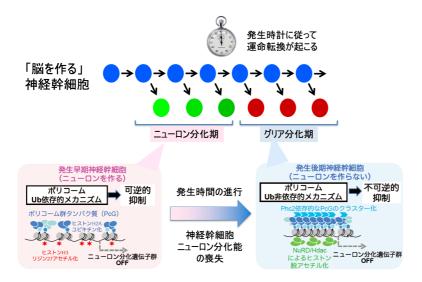
(2)神経幹細胞のトランスクリプトーム解析を行い、「増殖期」から「ニューロン分化期」への転換のタイミングで発現レベルの変化する遺伝子群を同定した。これらの遺伝子群について、前述の早期大脳への簡便な遺伝子導入方法を用いてノックダウンを行い、「増殖期」から「ニューロン分化期」への転換を阻害する遺伝子をスクリーニングした。

4. 研究成果

(1) ニューロン分化期におけるニューロン分化遺伝子の「仮抑制」状態には Ring1 タンパク質のユビキチン化活性が必要であるが、グリア分化期の「永続抑制」状態にはユビキチン化活性は不要であることが明らかになった。さらに重要なことにこの「永続的な」抑制状態には Ring1 と複合体を作る Phc2 の自己重合/凝集が必要で、染色体の凝集が関与することが示唆された。つまり、神経幹細胞がニューロン分化ポテンシャルを持つ状態(すなわち、ニューロン分化誘導シグナルが入った時にニューロン分化遺伝子群が発現しうる状態)とニューロン分化ポテンシャルを持たない状態の違いを作る、PcG の分子的基盤を明らかにした。

ではニューロン分化期からグリア分化期へと移行する際に、PcG はどのようにしてユビキチン化活性依存的な抑制状態から非依存的な抑制状態へと(ニューロン分化遺伝子上で)移行するのだろうか。我々はこの点について、Mbd3 タンパク質を含む NuRD/Hdac 複合体がヒストンの脱アセチル化を行い、ユビキチン化活性への依存性が変化することを示唆する結果を得た。つまりヒストンの脱アセチル化こそが、発生の時間経過とともに神経幹細胞のニューロン分化能を喪失させるトリガーであると言える。

(Tsuboi et al. Dev Cell 2018; Tsuboi et al. Curr. Opin. Neurobiol. 2019)



Tsuboi et al. Dev Cell 2018

(2)大脳新皮質神経幹細胞を時期を追って採取し、RNA sequencing を行なって時期依存的な変動遺伝子群を同定した。「増殖期」から「ニューロン分化期」への転換のタイミングで一過的に発現レベルが上昇する遺伝子として Hmga2 を同定した。Hmga2 は我々が以前にニューロン分化ポテンシャルに必須の役割を果たすことを報告しており(Kishi et al. 2012)、この遺伝子の発現上昇がニューロン分化期の開始に貢献する可能性を検討した。その結果、Hmga2 の早期大脳におけるノックダウンによってニューロン分化の開始が抑制され、トランスクリプトーム全体もより早期化することを見出した。従って Hmga2 が「増殖期」から「ニューロン分化期」への転換を一部担うことが示唆された。

(Kuwayama et al. bioRxiv)

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計18件(うち査読付論文 17件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 17件)

1	
1.著者名	4.巻
Harada Yujin, Yamada Mayumi, Imayoshi Itaru, Kageyama Ryoichiro, Suzuki Yutaka, Kuniya Takaaki, Furutachi Shohei, Kawaguchi Daichi, Gotoh Yukiko	12
2.論文標題	5 . 発行年
Cell cycle arrest determines adult neural stem cell ontogeny by an embryonic Notch- nonoscillatory Hey1 module	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Nature Communications	6562
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1038/s41467-021-26605-0	有
10.1030/34140/ 021-2000/0	
オープンアクセス	国際共著
	国际共有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Yuizumi Naoya、Harada Yujin、Kuniya Takaaki、Sunabori Takehiko、Koike Masato、Wakabayashi	39
Masaki、Ishihama Yasushi、Suzuki Yutaka、Kawaguchi Daichi、Gotoh Yukiko	
2 . 論文標題	5.発行年
Maintenance of Neural Stem-Progenitor Cells by the Lysosomal Biosynthesis Regulators TFEB and TFE3 in the Embryonic Mouse Telencephalon	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Stem Cells	
Stem Cet15	929 ~ 944
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	│ │ 査読の有無
10.1002/stem.3359	有
オープンアクセス	国際共著
· · · · · =· ·	国你不有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	1 /
	4 . 巻
Omiya Hanae, Yamaguchi Shima, Watanabe Tomoyuki, Kuniya Takaaki, Harada Yujin, Kawaguchi	11
Daichi, Gotoh Yukiko	
Daichi, Gotoh Yukiko	5.発行年
Daichi、Gotoh Yukiko 2.論文標題	5.発行年
Daichi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic	5 . 発行年 2021年
Daichi、Gotoh Yukiko 2.論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors	2021年
Daichi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3 . 雑誌名	
Daichi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors	2021年
Daichi、Gotoh Yukiko 2.論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3.雑誌名 Scientific Reports	2021年 6 . 最初と最後の頁 613
Daichi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3 . 雑誌名 Scientific Reports 曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁
Daichi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3 . 雑誌名 Scientific Reports	2021年 6 . 最初と最後の頁 613
Daichi、Gotoh Yukiko 2.論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3.雑誌名 Scientific Reports	2021年 6.最初と最後の頁 613 査読の有無
Daichi、Gotoh Yukiko 2.論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3.雑誌名 Scientific Reports	2021年 6.最初と最後の頁 613 査読の有無 有
Daichi、Gotoh Yukiko 2.論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3.雑誌名 Scientific Reports 引動論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-79610-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2021年 6.最初と最後の頁 613 査読の有無 有
Daichi、Gotoh Yukiko 2.論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3.雑誌名 Scientific Reports 引動論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-79610-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2021年 6.最初と最後の頁 613 査読の有無 有
Daichi、Gotoh Yukiko 2.論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3.雑誌名 Scientific Reports 引動論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-79610-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Aoyama-Ishiwatari Saeko、Okazaki Tomohiko、Iemura Shun-ichiro、Natsume Tohru、Okada Yasushi、	2021年 6.最初と最後の頁 613 査読の有無 有 国際共著
Daichi、Gotoh Yukiko 2.論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3.雑誌名 Scientific Reports 引動論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-79610-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Aoyama-Ishiwatari Saeko、Okazaki Tomohiko、Iemura Shun-ichiro、Natsume Tohru、Okada Yasushi、Gotoh Yukiko	2021年 6.最初と最後の頁 613 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 206
Daichi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3 . 雑誌名 Scientific Reports B載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-79610-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Aoyama-Ishiwatari Saeko、Okazaki Tomohiko、Iemura Shun-ichiro、Natsume Tohru、Okada Yasushi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題	2021年 6.最初と最後の頁613 査読の有無有 国際共著 - 4.巻 206
Daichi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3 . 雑誌名 Scientific Reports	2021年 6.最初と最後の頁613 査読の有無有 国際共著 - 4.巻 206
Daichi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-79610-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Aoyama-Ishiwatari Saeko、Okazaki Tomohiko、Iemura Shun-ichiro、Natsume Tohru、Okada Yasushi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 NUDT21 Links Mitochondrial IPS-1 to RLR-Containing Stress Granules and Activates Host Antiviral Defense	2021年 6.最初と最後の頁 613 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 206 5.発行年 2020年
Daichi、Gotoh Yukiko 2. 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3. 雑誌名 Scientific Reports 引動である。 「おっぱいアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Aoyama-Ishiwatari Saeko、Okazaki Tomohiko、Iemura Shun-ichiro、Natsume Tohru、Okada Yasushi、Gotoh Yukiko 2. 論文標題 NUDT21 Links Mitochondrial IPS-1 to RLR-Containing Stress Granules and Activates Host Antiviral Defense 3. 雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 613 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 206
Daichi、Gotoh Yukiko 2. 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3. 雑誌名 Scientific Reports 尋載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-79610-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Aoyama-Ishiwatari Saeko、Okazaki Tomohiko、Iemura Shun-ichiro、Natsume Tohru、Okada Yasushi、Gotoh Yukiko 2. 論文標題 NUDT21 Links Mitochondrial IPS-1 to RLR-Containing Stress Granules and Activates Host Antiviral Defense	2021年 6.最初と最後の頁 613 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 206 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Daichi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3 . 雑誌名 Scientific Reports	2021年 6.最初と最後の頁613 査読の有無有 国際共著 - 4.巻 206 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁154~163
Daichi、Gotoh Yukiko 2. 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3. 雑誌名 Scientific Reports 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-79610-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Aoyama-Ishiwatari Saeko、Okazaki Tomohiko、Iemura Shun-ichiro、Natsume Tohru、Okada Yasushi、Gotoh Yukiko 2. 論文標題 NUDT21 Links Mitochondrial IPS-1 to RLR-Containing Stress Granules and Activates Host Antiviral Defense 3. 雑誌名 The Journal of Immunology	2021年 6.最初と最後の頁 613 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 206 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 154~163
Daichi、Gotoh Yukiko 2. 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3. 雑誌名 Scientific Reports 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-79610-6 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Aoyama-Ishiwatari Saeko、Okazaki Tomohiko、Iemura Shun-ichiro、Natsume Tohru、Okada Yasushi、Gotoh Yukiko 2. 論文標題 NUDT21 Links Mitochondrial IPS-1 to RLR-Containing Stress Granules and Activates Host Antiviral Defense 3. 雑誌名 The Journal of Immunology	2021年 6.最初と最後の頁 613 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 206 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 154~163
Daichi、Gotoh Yukiko : 論文標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors 3. 雑誌名 Scientific Reports おかける	2021年 6.最初と最後の頁 613 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 206 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 154~163

1.著者名	. "
	4 . 巻
Eto Hikaru、Kishi Yusuke、Yakushiji-Kaminatsui Nayuta、Sugishita Hiroki、Utsunomiya Shun、	11
Koseki Haruhiko, Gotoh Yukiko	
2 . 論文標題	5 . 発行年
The Polycomb group protein Ring1 regulates dorsoventral patterning of the mouse telencephalon	2020年
c., c., c.,	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nature Communications	
Nature Communications	5709
In which is a second of the se	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41467-020-19556-5	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Kuwayama Naohiro, Kishi Yusuke, Maeda Yurie, Nishiumi Yurie, Suzuki Yutaka, Koseki Haruhiko,	-
Hirabayashi Yusuke、Gotoh Yukiko	
2 . 論文標題	5 . 発行年
A role for Hmga2 in the early-stage transition of neural stem-progenitor cell properties during	
mouse neocortical development	_0_0 1
3.雑誌名	6 早知レ星後の百
	6 . 最初と最後の頁
bioRxiv.	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1101/2020.05.14.086330	無
	,
オープンアクセス	国際共著
=	当际六有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Imaizumi Yui, Furutachi Shohei, Watanabe Tomoyuki, Miya Hiroaki, Kawaguchi Daichi, Gotoh Yukiko	10
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
2 . 論文標題	5.発行年
	2020年
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development	2020年
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development	•
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development	•
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名	6 最初と最後の頁
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3 . 雑誌名 Scientific Reports	6 最初と最後の頁
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3 . 雑誌名 Scientific Reports	6 最初と最後の頁
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6.最初と最後の頁
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3 . 雑誌名 Scientific Reports	6.最初と最後の頁
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9	6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス	6.最初と最後の頁
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9	6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス	6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko	6.最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko 2.論文標題	6.最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko	6.最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 Endfoot regrowth for neural stem cell renewal	6.最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 Endfoot regrowth for neural stem cell renewal	6.最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko 2.論文標題 Endfoot regrowth for neural stem cell renewal 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 22 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 Endfoot regrowth for neural stem cell renewal	6.最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko 2.論文標題 Endfoot regrowth for neural stem cell renewal 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 4.巻 22 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 Endfoot regrowth for neural stem cell renewal 3 . 雑誌名 Nature Cell Biology	6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 22 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 3~5
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 Endfoot regrowth for neural stem cell renewal 3 . 雑誌名 Nature Cell Biology	6.最初と最後の頁
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 Endfoot regrowth for neural stem cell renewal 3 . 雑誌名 Nature Cell Biology	6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 22 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 3~5
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 Endfoot regrowth for neural stem cell renewal 3 . 雑誌名 Nature Cell Biology	6.最初と最後の頁
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3.雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko 2.論文標題 Endfoot regrowth for neural stem cell renewal 3.雑誌名 Nature Cell Biology 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41556-019-0448-5	6.最初と最後の頁
Role of the imprinted allele of the Cdkn1c gene in mouse neocortical development 3 . 雑誌名 Scientific Reports 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-58629-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Tsuboi Masafumi、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 Endfoot regrowth for neural stem cell renewal 3 . 雑誌名 Nature Cell Biology	6.最初と最後の頁

1 . 著者名 Sakai Hiroshi、Fujii Yuki、Kuwayama Naohiro、Kawaji Keita、Gotoh Yukiko、Kishi Yusuke	
Sakai Hiroshi Fujii Yuki Kuwayama Naohiro Kawaji Kejta Gotoh Yukiko Kishi Yusuke	4 . 巻
bandi introdute rajit rakte kanayama nabititot kanayi kortat botton raktikot kitom rabako	24
2 . 論文標題	5 . 発行年
Plag1 regulates neuronal gene expression and neuronal differentiation of neocortical neural	2019年
progenitor cells	
3 . 維誌名	6.最初と最後の頁
Genes to Cells	650 ~ 666
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>」</u> 査読の有無
10.1111/gtc.12718	有
	同咖井芸
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	T . W
1.著者名	4 . 巻
Tsuboi Masafumi、Hirabayashi Yusuke、Gotoh Yukiko	59
2.論文標題	5.発行年
Diverse gene regulatory mechanisms mediated by Polycomb group proteins during neural	2019年
development	2010—
3.雑誌名	■ 6.最初と最後の頁
Current Opinion in Neurobiology	164 ~ 173
ATTENDA A DA CONTRACTOR AND	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.conb.2019.07.003	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Kawaguchi Daichi、Gotoh Yukiko	218
Namegasiii Satorii Cotori lattito	
2.論文標題	5.発行年
Nourovin noncoluctora: A noval atrustura at programmia tarminala	
Neurexin nanoclusters: A novel structure at presynaptic terminals	2019年
	2019年
3 . 雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
	2019年
3 . 雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Cell Biology	2019年 6 . 最初と最後の頁 2442~2443
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無
3.雑誌名 Journal of Cell Biology	2019年 6 . 最初と最後の頁 2442~2443
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著 -
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tanaka Hideaki、Okazaki Tomohiko、Aoyama Saeko、Yokota Mutsumi、Koike Masato、Okada Yasushi、	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tanaka Hideaki、Okazaki Tomohiko、Aoyama Saeko、Yokota Mutsumi、Koike Masato、Okada Yasushi、Fujiki Yukio、Gotoh Yukiko	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 132
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tanaka Hideaki、Okazaki Tomohiko、Aoyama Saeko、Yokota Mutsumi、Koike Masato、Okada Yasushi、Fujiki Yukio、Gotoh Yukiko 2.論文標題	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 132 5.発行年
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tanaka Hideaki、Okazaki Tomohiko、Aoyama Saeko、Yokota Mutsumi、Koike Masato、Okada Yasushi、	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 132
3 . 雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Tanaka Hideaki、Okazaki Tomohiko、Aoyama Saeko、Yokota Mutsumi、Koike Masato、Okada Yasushi、Fujiki Yukio、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 Peroxisomes control mitochondrial dynamics and the mitochondrion-dependent apoptosis pathway	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 132 5.発行年 2019年
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tanaka Hideaki、Okazaki Tomohiko、Aoyama Saeko、Yokota Mutsumi、Koike Masato、Okada Yasushi、Fujiki Yukio、Gotoh Yukiko 2.論文標題 Peroxisomes control mitochondrial dynamics and the mitochondrion-dependent apoptosis pathway 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 132 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Tanaka Hideaki、Okazaki Tomohiko、Aoyama Saeko、Yokota Mutsumi、Koike Masato、Okada Yasushi、Fujiki Yukio、Gotoh Yukiko 2 . 論文標題 Peroxisomes control mitochondrial dynamics and the mitochondrion-dependent apoptosis pathway	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 132 5.発行年 2019年
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tanaka Hideaki、Okazaki Tomohiko、Aoyama Saeko、Yokota Mutsumi、Koike Masato、Okada Yasushi、Fujiki Yukio、Gotoh Yukiko 2.論文標題 Peroxisomes control mitochondrial dynamics and the mitochondrion-dependent apoptosis pathway 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 132 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tanaka Hideaki、Okazaki Tomohiko、Aoyama Saeko、Yokota Mutsumi、Koike Masato、Okada Yasushi、Fujiki Yukio、Gotoh Yukiko 2.論文標題 Peroxisomes control mitochondrial dynamics and the mitochondrion-dependent apoptosis pathway 3.雑誌名 Journal of Cell Science	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 132 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 jcs224766
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tanaka Hideaki、Okazaki Tomohiko、Aoyama Saeko、Yokota Mutsumi、Koike Masato、Okada Yasushi、Fujiki Yukio、Gotoh Yukiko 2.論文標題 Peroxisomes control mitochondrial dynamics and the mitochondrion-dependent apoptosis pathway 3.雑誌名 Journal of Cell Science	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 132 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tanaka Hideaki、Okazaki Tomohiko、Aoyama Saeko、Yokota Mutsumi、Koike Masato、Okada Yasushi、Fujiki Yukio、Gotoh Yukiko 2.論文標題 Peroxisomes control mitochondrial dynamics and the mitochondrion-dependent apoptosis pathway 3.雑誌名 Journal of Cell Science	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 132 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 jcs224766
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tanaka Hideaki、Okazaki Tomohiko、Aoyama Saeko、Yokota Mutsumi、Koike Masato、Okada Yasushi、Fujiki Yukio、Gotoh Yukiko 2.論文標題 Peroxisomes control mitochondrial dynamics and the mitochondrion-dependent apoptosis pathway 3.雑誌名 Journal of Cell Science	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 132 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 jcs224766
3.雑誌名 Journal of Cell Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1083/jcb.201907074 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Tanaka Hideaki、Okazaki Tomohiko、Aoyama Saeko、Yokota Mutsumi、Koike Masato、Okada Yasushi、Fujiki Yukio、Gotoh Yukiko 2.論文標題 Peroxisomes control mitochondrial dynamics and the mitochondrion-dependent apoptosis pathway 3.雑誌名 Journal of Cell Science	2019年 6.最初と最後の頁 2442~2443 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 132 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 jcs224766

1.著者名 Kishi, Y. and Gotoh, Y.	4 244
Kishi, Y. and Gotoh, Y.	4 . 巻
	12
2.論文標題	5 . 発行年
Regulation of chromatin structure during neural development.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers Neurosci.	874
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
7 777 7 27 20 20 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	_
. ***	I . 24
1.著者名	4 . 巻
Tsuboi, M., Kishi, Y., Kyozuka, W., Koseki, H., Hirabayashi, Y. and Gotoh, Y.	47
2 . 論文標題	5 . 発行年
Ubiquitination-independent repression of PRC1 targets during neuronal fate restriction in the	2018年
dividual to the result of the restriction of the restriction of the restriction of the	2010-
developing mouse neocortex.	C = 17 = 1/2 = 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Dev. Cell	758-772
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.devcel.2018.11.018	有
10.1010/j.uevce1.2010.11.010	H
	国際共芸
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Okazaki, T. and Gotoh, Y.	23
orazart, il ana octor, il	
2.論文標題	F 発仁左
	5 . 発行年
	-
An unexpected calm: Mfge8 controls stem cell quiescence and maintenance.	2018年
	-
An unexpected calm: Mtge8 controls stem cell quiescence and maintenance. 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
	-
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Cell Stem Cell	6 . 最初と最後の頁 311-312
3.雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 311-312 査読の有無
3.雑誌名 Cell Stem Cell	6 . 最初と最後の頁 311-312
3 . 雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有
3 . 雑誌名	6 . 最初と最後の頁 311-312 査読の有無
3 . 雑誌名	6 . 最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有
3 . 雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有
3.雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6 . 最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y.,	6 . 最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y., Suzuki, Y., Fukazawa, F. and Gotoh, Y.	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y.,	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y., Suzuki, Y., Fukazawa, F. and Gotoh, Y. 2.論文標題	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y., Suzuki, Y., Fukazawa, F. and Gotoh, Y.	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9
3.雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y., Suzuki, Y., Fukazawa, F. and Gotoh, Y. 2.論文標題 Layer-specific heterogeneity of astrocytes and its dependence on neuronal layers.	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年
3 . 雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y., Suzuki, Y., Fukazawa, F. and Gotoh, Y. 2 . 論文標題 Layer-specific heterogeneity of astrocytes and its dependence on neuronal layers. 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y., Suzuki, Y., Fukazawa, F. and Gotoh, Y. 2.論文標題 Layer-specific heterogeneity of astrocytes and its dependence on neuronal layers.	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年
3 . 雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y., Suzuki, Y., Fukazawa, F. and Gotoh, Y. 2 . 論文標題 Layer-specific heterogeneity of astrocytes and its dependence on neuronal layers. 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y., Suzuki, Y., Fukazawa, F. and Gotoh, Y. 2 . 論文標題 Layer-specific heterogeneity of astrocytes and its dependence on neuronal layers. 3 . 雑誌名 Nat. Comm.	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1623
3 . 雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y., Suzuki, Y., Fukazawa, F. and Gotoh, Y. 2 . 論文標題 Layer-specific heterogeneity of astrocytes and its dependence on neuronal layers. 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y., Suzuki, Y., Fukazawa, F. and Gotoh, Y. 2 . 論文標題 Layer-specific heterogeneity of astrocytes and its dependence on neuronal layers. 3 . 雑誌名 Nat. Comm.	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1623
3 . 雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y., Suzuki, Y., Fukazawa, F. and Gotoh, Y. 2 . 論文標題 Layer-specific heterogeneity of astrocytes and its dependence on neuronal layers. 3 . 雑誌名 Nat. Comm.	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1623
3 . 雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y., Suzuki, Y., Fukazawa, F. and Gotoh, Y. 2 . 論文標題 Layer-specific heterogeneity of astrocytes and its dependence on neuronal layers. 3 . 雑誌名 Nat. Comm. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-03940-3	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1623
3 . 雑誌名 Cell Stem Cell 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Lanjakornsiripan, D., Pior, B.J., Kawaguchi, D., Furutachi, S., Tahara, T., Katsuyama, Y., Suzuki, Y., Fukazawa, F. and Gotoh, Y. 2 . 論文標題 Layer-specific heterogeneity of astrocytes and its dependence on neuronal layers. 3 . 雑誌名 Nat. Comm.	6.最初と最後の頁 311-312 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1623

1.著者名	4 . 巻
Kawai Hiroki, Kawaguchi Daichi, Kuebrich Benjamin D., Kitamoto Takeo, Yamaguchi Masahiro, Gotoh Yukiko, Furutachi Shohei	37
	= 7V./= -
2 . 論文標題	5 . 発行年
Area-Specific Regulation of Quiescent Neural Stem Cells by Notch3 in the Adult Mouse	2017年
Subependyma I Zone	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
The Journal of Neuroscience	11867 ~ 11880
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1523/JNEUROSCI.0001-17.2017	有
	□ m + ++
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
Itoh Yasuhiro, Higuchi Maiko, Oishi Koji, Kishi Yusuke, Okazaki Tomohiko, Sakai Hiroshi, Miyata	113
Takaki, Nakajima Kazunori, Gotoh Yukiko	
2.論文標題	5 . 発行年
PDK1-Akt pathway regulates radial neuronal migration and microtubules in the developing mouse	2016年
neocortex	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the National Academy of Sciences	E2955 ~ E2964
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1073/pnas.1516321113	有
·	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

〔学会発表〕 計185件(うち招待講演 66件/うち国際学会 76件)

1 . 発表者名

Yukiko Gotoh

2 . 発表標題

Cell cycle arrest determines adult neural stem cell ontogeny

3 . 学会等名

The International Symposium on Development and Plasticity of Neural Systems (招待講演) (国際学会)

4.発表年

2022年

1.発表者名

Yukiko Gotoh

2 . 発表標題

The embryonic root of adult subventricular neural stem cells

3.学会等名

King's College London (招待講演) (国際学会)

4 . 発表年

2022年

1.発表者名	
石崎亮介,岸雄介,後藤由季子	
2. 発表標題	
神経幹細胞の運命転換におけるクロマチン相互作用の解析	
3 . 学会等名	
第39回 染色体ワークショップ・第19回 核ダイナミクス研究会	
4 . 発表年	
2021年	
2021	
1.発表者名	
後藤由季子	
投際田子 J	
2 . 発表標題	
脳を創る神経幹細胞	
2 24 4 65 7	
3 . 学会等名	
第39回日本脳腫瘍学会学術集会(招待講演)	
4.発表年	
2021年	
1.発表者名	
増田 裕樹,岡崎 朋彦,豊田 伸平,Merve Bilgic,椙下 紘貴,後藤 由季子	
2.発表標題	
ウイルス感染細胞において1型インターフェロン産生細胞が少数選ばれる機 構と意義の解明	
ノールへ心未開心にひがに、エーノノ ノエロノ圧上間に3 / 外区は10 11以 1時に高級の所的	
3.学会等名	
第44回日本分子生物学会年会	
A 7V 主 ケ	
4 . 発表年	
2021年	
1.発表者名	
齋藤里歩,岡崎朋彦,後藤由季子	
2 . 発表標題	
	em
2 . 発表標題 Identification of the novel neuro-immune interaction during viral infection in the olfactory system	em
	em
	em
Identification of the novel neuro-immune interaction during viral infection in the olfactory systems.	em
Identification of the novel neuro-immune interaction during viral infection in the olfactory systems. 3.学会等名	em
Identification of the novel neuro-immune interaction during viral infection in the olfactory systems.	em
Identification of the novel neuro-immune interaction during viral infection in the olfactory systems 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会	em
Identification of the novel neuro-immune interaction during viral infection in the olfactory systems 3. 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4. 発表年	em
Identification of the novel neuro-immune interaction during viral infection in the olfactory systems 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会	em
Identification of the novel neuro-immune interaction during viral infection in the olfactory systems 3. 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4. 発表年	em
Identification of the novel neuro-immune interaction during viral infection in the olfactory systems 3. 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4. 発表年	em
Identification of the novel neuro-immune interaction during viral infection in the olfactory systems 3.学会等名 第44回日本分子生物学会年会	em

Merve Bilgic, Yukiko Gotoh, Yusuke Kishi 2 . 発表標題 Aging-associated changes in epigenetic and transcriptomic profiles of neocortical and hippocampal neurons
Aging-associated changes in epigenetic and transcriptomic profiles of neocortical and hippocampal neurons
3 . 学会等名
第44回日本分子生物学会年会
4 . 発表年
2021年
1 . 発表者名
岸 雄介,坂井 星辰,Bilgic Merve,後藤 由季子
2 . 発表標題
ニューロン分化過程におけるクロマチン構造変化の解析
3 . 学会等名
第94回日本生化学会大会
4 . 発表年
2021年
1.発表者名 Yukiko Gotoh
TUKTKO GOTON
2.発表標題
Establishment of Embryonic Origin of Adult Neural Stem Cells at The Subventricular Zone
3 . 学会等名
The International Society for Stem Cell Research (ISSCR) and the Japanese Society for Regenerative Medicine (JSRM) Tokyo International Symposium(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2021年
1. 発表者名
Yujin Harada,Mayumi Yamada,Itaru Imayoshi,Ryoichiro Kageyama,Daichi Kawaguchi,Yukiko Gotoh
2 . 発表標題
Roles of cell cycle inhibition in the genesis of adult neural stem cells
3 . 学会等名
ISSCR/JSRM Tokyo International Symposium(国際学会)
4 . 発表年
2021年

1. 発表者名 Naoya Yuizumi,Yujin Harada,Takaaki Kuniya,Takehiko Sunabori,Masato Koike,Masaki Wakabayashi,Yasushi Ishihama,Yutaka Suzuki,Daichi Kawaguchi,Yukiko Gotoh
2.発表標題 Maintenance of neural stem-progenitor cells by the lysosomal biosynthesis regulators tfeb and tfe3
3.学会等名 ISSCR/JSRM Tokyo International Symposium,(国際学会)
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 Hanae Omiya,Shima Yamaguchi,Tomoyuki Watanabe,Takaaki Kuniya,Yujin Harada,Daichi Kawaguchi,Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 BMP signaling suppresses Gemc1 expression and ependymal differentiation of mouse telencephalic progenitors
3.学会等名 ISSCR/JSRM Tokyo International Symposium,(国際学会)
4.発表年 2021年
1.発表者名 表 伯俊,Lanjakornsiripan Darin,川口 大地,後藤 由季子
2 . 発表標題 マウス大脳新皮質におけるアストロサイトの多様性についての解析
3.学会等名 第44回日本神経科学大会 / CJK第1回国際会議
4.発表年 2021年
1.発表者名 岸 雄介,坂井 星辰,後藤 由季子
2 . 発表標題 ニューロン分化過程におけるクロマチン構造変化
3.学会等名 第44回日本神経科学大会 / CJK第1回国際会議
4.発表年 2021年

1.発表者名
Yukiko Gotoh
2.発表標題
2.完衣標題 Selective Regulation of Type I Interferon and Apoptosis and Its Relevance to Brain Protection against Viral Infection
consecutor of type i interferent and Apoptesis and the nerevalide to brain i folloction against vital infection
3 . 学会等名
The Uehara International Symposium 2021(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2021年
1.発表者名
Yukiko Gotoh
Taktiko ootoii
2 . 発表標題
Cell cycle arrest determines adult neural stem cell ontogeny by an embryonic Notch-nonoscillatory Hey1 module, Secrets of
stem cells underlying longevity and persistent growth in plants
3.学会等名
3.字云寺名 Secrets of stem cells underlying longevity and persistent growth in plants(招待講演)(国際学会)
occiets of stem certs underlying fongevity and persistent growth in plants (指付神决)(国际子云)
4.発表年
2021年

1.発表者名
野崎啓史,岡崎朋彦,後藤由季子
2.発表標題
中枢神経炎症における抗ウイルス応答使い分け機構の役割の解析
3.学会等名
日本薬学会 第141年会
4.発表年
2021年
1. 発表者名
原田雄仁,山田真弓,今吉格,影山龍一郎,川口大地,後藤由季子
2.発表標題
2 . 宪衣標題 Roles of cell cycle inhibition in the genesis of adult neural stem cells.
Notes of each cycle minufation in the genesis of addit hedral Stell Cells.
3 . 学会等名
第14回神経発生討論会
4. 発表年
2021年

1.発表者名 湯泉直也,原田雄仁,國屋敬章,砂堀毅彦,小池正人,若林真樹,石濱泰,鈴木穣,川口大地,後藤由季子
2 . 発表標題 胎生期神経系前駆細胞の運命制御におけるリソソームの新規機能の解明
3.学会等名 第14回神経発生討論会
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Cell cycle arrest determines adult neural stem cell ontogeny by an embryonic Notch-nonoscillatory Hey1 module
3 . 学会等名 Secrets of stem cells underlying longevity and persistent growth in plants (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 岸雄介,坂井星辰,川路啓太,後藤由季子
2 . 発表標題 ニューロン分化過程におけるクロマチン構造変化の役割
3.学会等名 第43回日本分子生物学会年会
4 . 発表年 2020年
1. 発表者名 外川 諒也,湯泉 直也,原田 雄仁,川口 大地,青柳 良平,有田 誠,可野 邦行,青木 淳賢,後藤 由季子
2 . 発表標題 胎生期神経系前駆細胞における脂質代謝の解析
3 . 学会等名 第43回日本分子生物学会年会
4 . 発表年 2020年

1.発表者名 坂井 星辰,岸 雄介,後藤 由季子
2. 発表標題 Single cell analysis of chromatin accessibility during differentiation of cortical neurons
3 . 学会等名 第20回 東京大学生命科学シンポジウム
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Akisawa Satomi,Tomohiko Okazaki,Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Identification of immune cells protecting from lethal viral infection in the central nervous system.
3 . 学会等名 第20回生命科学シンポジウム
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Naohiro Kuwayama,Daichi Kawaguchi,Yusuke Kishi, Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Epigenetic regulation of neural stem-progenitor cell fate in the developing mouse neocortex
3 . 学会等名 2nd Neuroepigenetics & Neuroepitranscriptomics' Conference(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Hanae Omiya,Shima Yamaguchi,Takaaki Kuniya,Daichi Kawaguchi,Masahide Seki,Yutaka Suzuki,Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Fate determination of ependymal cells and adult neural stem cells during brain development
3 . 学会等名 German-Japanese Developmental Neuroscience Meeting 2020(国際学会)
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名 Yujin Harada,Mayumi Yamada,Itaru Imayoshi,Daichi Kawaguchi,Yukiko Gotoh
2.発表標題
Mechanistic links between cell cycle arrest and postnatal/adult neural stem cells at the mouse subventricular zone
3.学会等名 German-Japanese Developmental Neuroscience Meeting 2020(国際学会)
4.発表年 2020年
1. 発表者名 Naoya Yuizumi,Yujin Harada,Takehiko Sunabori,Masato Koike,Masaki Wakabayashi,Yasushi Ishihama,Yutaka Suzuki,Daichi Kawaguchi,Yukiko Gotoh
Maintenance of neural stem/progenitor cells by the lysosomal biosynthesis regulator TFEB
3.学会等名
German-Japanese Developmental Neuroscience Meeting 2020(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名
Yusuke Kishi, Tanita Miriam Frey, Seishin Sakai, Keita Kawaji, Yukiko Gotoh
2.発表標題
Chromatin regul ation during neural development
3.学会等名 German-Japanese Developmental Neuroscience Meeting 2020(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Lingyan Fang,Takaaki Kuniya,Daichi Kawaguchi,Yukiko Gotoh

2 . 発表標題

3 . 学会等名

4 . 発表年 2020年

Roles of the ECM-regulator TIMP3 in the genesis of adult neural stem cells

German-Japanese Developmental Neuroscience Meeting 2020 (国際学会)

1 . 発表者名 Naohiro Kuwayama,Yusuke Kishi,Yurie Nishiumi,Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Elucidation of the expansion-to-neurogenic phase transition in neocortical neural progenitor cells
3 . 学会等名 German-Japanese Developmental Neuroscience Meeting 2020 (国際学会)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Saeko Aoyama-Ishiwatari,Tomohiko Okazaki,Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 NUDT21 Links Cytoplasmic Stress Granules to Mitochondrial IPS-1 and Activates Host Defense Responses Against Viral Infection
3 . 学会等名 ASCB/EMBO 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 丁悦文,川口大地,後藤由季子
2 . 発表標題 成体神経幹細胞の胎生期起源細胞ニッチの解析
3.学会等名 第42回日本分子生物学会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 渡邊信斗,川口大地,後藤由季子
2 . 発表標題 自閉症早期にみられる領域特異的な大脳皮質肥大化に関わる分子機構
3 . 学会等名 第42回日本分子生物学会
4 . 発表年 2019年

1.発表者名 里見明澤,岡崎朋彦,後藤由季子
2 . 発表標題 脳内へのウイルス感染応答防御を担う免疫細胞の同定の試み
3.学会等名 第42回日本分子生物学会
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 後藤昂宏,城野克磨,川口大地,壷井將史,後藤由季子
2.発表標題 ポリコーム群タンパク質Ezh1による視床皮質回路形成の制御
3 . 学会等名 第42回日本分子生物学会
4 . 発表年 2019年
1. 発表者名 外川諒也,湯泉直也,原田雄仁,川口大地,青柳良平,有田誠,可野 行,青木淳賢,後藤由季子
2 . 発表標題 胎生期の神経幹細胞における脂質代謝の解析、
3.学会等名 第42回日本分子生物学会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 大宮英恵,山口詩真,國屋敬章,川口大地,関真秀,鈴木穣,後藤由季子
2 . 発表標題 成体神経幹細胞の胎生期「起源細胞」の同定とその性質の解明
3.学会等名 第42回日本分子生物学会
4 . 発表年 2019年

1.発表者名
岡崎朋彦,田中秀明,王雨竹,後藤由季子
2.発表標題
ペルオキシソームによる新規ミトコンドリア
3.学会等名
第42回日本分子生物学会
4.発表年
2019年
1.発表者名
豊田伸平,岡崎朋彦,後藤由季子
2. 艾丰福昭
2.発表標題
ウイルス感染細胞において インターフェロン産生細胞が少数選ばれる機構と意義の解明
3.学会等名
第42回日本分子生物学会
X-EBT-73, T10, X
4.発表年
2019年
1.発表者名
Yukiko Gotoh
2.発表標題
Regulation of neural progenitor-stem cell fate during development
3.学会等名
3.子云寺石 The Hospital for Sick Children symposium(招待講演)(国際学会)
ino nospital for otok offitalen symposium(jajは佛次)(凶际子云)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
Yusuke Kishi,Seishin Sakai,Keita Kawaji,Yukiko Gotoh
2.発表標題
Chromatin regulation during neural development
2
3.学会等名
Scoping meeting on neuronal maturation(招待講演)(国際学会)
A
4. 発表年
2019年

1.発表者名 Tomohiko Okazaki,Moe Inoue,Yukiko Gotoh
2.発表標題 A division of labour for the type I Interferon and apoptosis induction after viral infection
3.学会等名 The 17th International Congress of Immunology (IUIS 2019)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Yukiko Gotoh
2.発表標題 Regulation of adult neural stem/progenitor cell fate
3.学会等名 The Notch Meeting XI(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2019年
1 . 発表者名 Naohiro Kuwayama,Daichi Kawaguchi,Yusuke Kishi, Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Chromatin-level regulation of neural stem/progenitor cell fate
3.学会等名 2019 The International Brain Research Organization (IBRO)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Tomohiko Okazaki,Akisawa Satomi,Yukiko Gotoh
2.発表標題 Vitamin K and carboxylation of MAVS converts apoptotic response to interferon production and protects against viral infection in the central nervous system
3 . 学会等名

Cell symposia Neuro-Immune Axis: Reciprocal Regulation in Development, Health, and Disease (国際学会)

4 . 発表年 2019年

1.発表者名 田中秀明,岡崎朋彦,後藤由季子
2 . 発表標題 ペルオキシソームによるミトコンドリアの動態・機能制御
3 . 学会等名 第92回日本生化学会大会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 青山幸恵子,岡崎朋彦,後藤由季子
2 . 発表標題 新規IPS-1結合タンパク質による抗ウイルス応答誘導メカニズムの解析
3 . 学会等名 第92回日本生化学会大会
4.発表年 2019年
1.発表者名 今泉結,岸雄介,川口大地,後藤由季子
2.発表標題 Zfp57による組織特異的なアレス性発現制御メカニズム
3 . 学会等名 日本遺伝学会第91回大会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 後藤由季子
2 . 発表標題 脳はどのように発達してきたかのか?その謎にせまる
3 . 学会等名 第199回二木会研究会(招待講演)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Ryoya Sotokawa,Naoya Yuizumi,Yujin Harada,Daichi Kawaguchi, Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Embryonic origin of neural stem cells in the adult mouse subependymal zone
3 . 学会等名 Current Trends and Future Directions of Synapse-Circuit Plasticity Research 2019 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 D. Kawaguchi,N. Watanabe,K. Nagahama,T. Watanabe,M. Kano,Y. Gotoh
2 . 発表標題 A mechanism of region-specific neocortical overgrowth relevant to autism spectrum disorder
3 . 学会等名 日米脳:シナプスー回路シンポジウム(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 里見明澤, 岡崎朋彦, 後藤由季子
2 . 発表標題 脳内へのウィルス感染応答防御を担う免疫細胞の同定の試み
3 . 学会等名 第31回高遠・分子細胞生物学シンポジウム
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 外川諒也,湯泉直也,原田雄仁,川口大地,青柳良平,有田誠,可野邦行,青木淳賢,後藤由季子
2 . 発表標題 胎生期の神経幹細胞における脂質代謝の解析
3 . 学会等名 第31回高遠・分子細胞生物学シンポジウム
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 原田 雄仁,山田 真弓,今吉 格,川口 大地,後藤 由季子
2 . 発表標題 細胞周期の抑制はNotchシグナルを活性化することで胎生期神経系前駆細胞の運命決定を制御する
3 . 学会等名 第42回日本神経科学大会(NEUR02019)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 表 伯俊,Lanjakornsiripan Darin,川口 大地,後藤由季子
2 . 発表標題 マウス大脳新皮質におけるアストロサイトの多様性についての解析
3.学会等名 第42回日本神経科学大会(NEUR02019)(国際学会)
4.発表年 2019年
1. 発表者名 岸 雄介,坂井 星辰,和田 惠邦,後藤 由季子
2 . 発表標題 ニューロン分化過程におけるクロマチン構造変化
3.学会等名 第42回日本神経科学大会(NEUR02019)(国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 後藤由季子
2 . 発表標題 神経幹細胞の発生タイマー実行因子の解析
3 . 学会等名 領域班会議 脳構築における発生時計と場の連携
4 . 発表年 2019年

1.発表者名
方凌艶
2.発表標題 成体神経幹細胞の起源細胞の形成・維持における細胞外基質制御因子TIMP3 の機能解析
双冲神経界細胞の起源細胞の形成・維持にのける細胞外基負制側凸丁TIMP3 の機能解析
3.学会等名
第4回領域班会議脳構築における発生時計と場の連携
4.発表年
- 2019年
1 . 発表者名 川口大地
2.発表標題
自閉症早期にみられる領域特異的な大脳皮質肥大化に関わる分子機構
3.学会等名
第4回領域班会議脳構築における発生時計と場の連携
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
岸雄介
2 . 発表標題 ニューロン分化過程におけるクロマチン構造変化連携
ニューロンガル過程にのかるテロマナン構造支化建物
3.学会等名
第4回領域班会議脳構築における発生時計と場の連携
4.発表年
2019年
1.発表者名 岡崎朋彦,井上萌,豊田伸平,後藤由季子
1 00 010000 3 01 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
2.発表標題
ウィルス感染細胞における抗ウィルス応答の使い分け戦略
3 . 学会等名 第28回日本Cell Death学会学術集会(招待講演)
4 . 発表年
2019年

1.発表者名
Daichi Kawaguchi,Yusuke Kishi, Yukiko Gotoh
2.発表標題
Chromatin-level regulation of neural stem/progenitor cell fate
3.学会等名
3.子云寺石 NCCR-IRCN "22q" Workshop(招待講演)(国際学会)
=== Not not top () Highery / (Elist) A /
4.発表年
2019年
1. 発表者名
Yukiko Gotoh
2 . 発表標題
Regulation of neural progenitor fate during development
3.学会等名
3.子云寺石 Center for Regenerative Therapies TU Dresden (CRTD) Summer Conference(招待講演)(国際学会)
ocition for magainerative interaptes to presuct (onto) odillicit collected (101寸時次)(四杯子女)
4.発表年
2019年
1.発表者名
山口 詩真,國屋 敬章,大宮 英惠,川口 大地,鈴木 穣,後藤 由季子
2.発表標題
成体神経幹細胞の胎生期「起源細胞」の同定とその性質の解明
2. 当人然有
3.学会等名
第71回日本細胞生物学会大会 合同年次大会
4 . 発表年
2019年
···
1.発表者名
川口 大地,渡邊 信斗,後藤 由季子
2 ※主価時
2 . 発表標題 自閉症早期にみられる領域特異的な大脳皮質肥大化に関わる分子機構
ロ団派士物にクアンシ1ッ%で場合では八個区見加入市に対けるカナ技術
3.学会等名
第71回日本細胞生物学会大会 合同年次大会(招待講演)
4 . 発表年
2019年

1.発表者名
Hikaru Eto,Yusuke Kishi,Haruhiko Koseki,Yukiko Gotoh
2 . 発表標題
Polycomb Group Protein Ring1 regulates early-stage patterning of mouse telencephalon
3 . 学会等名
Gordon Research Conference: Developmental Biology(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1. 発表者名
坂井 星辰,岸 雄介,後藤 由季子
2 . 発表標題
ニューロン分化期に多数の遺伝子の発現を制御する機構の解析
3.学会等名
第13回エピジェネティクス研究会
4.発表年
2019年
1. 発表者名
岸雄介,桑山尚大,和田 惠邦,後藤由季子
2.発表標題
Hmga2による神経幹細胞の運命転換制御メカニズムの解明
3 . 学会等名 第13回エピジェネティクス研究会年会
おい四エピノエホノ1ク人別九云午云
4.発表年
2019年
1 改丰4 <i>位</i>
1 . 発表者名 今泉 結,岸 雄介,川口 大地,後藤 由季子
/ 小 inq , 广 临八 , 川 口 八 25 , 夜 脉 田子 】
2. 及羊種語
2 . 発表標題 Zfp57による組織特異的アレル性発現制御メカニズムの解明
こ・トゥ・・「この の『西海はは 2.2月コン トント エンロップロートン・ファーン フザムレンド
2
3.学会等名 第13回エピジェネティクス研究会年会
がはは、アン・カンスをはなする
4 . 発表年
2019年

1 . 発表者名 Naohiro Kuwayama,Yusuke Kishi,Daichi Kawaguchi,Yukiko Gotoh
2.発表標題 Chromatin-level regulation of neural stem/progenitor cell fate
3 . 学会等名 第13回エピジェネティクス研究会年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 岸雄介,桑山尚大,和田 惠邦,後藤由季子
2 . 発表標題 Hmga2による神経幹細胞の運命転換制御メカニズムの解明
3 . 学会等名 第13回エピジェネティクス研究会年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 木下隆太,岸雄介,鈴木伸之介,安倍訓也,後藤由季子
2 . 発表標題 Major satellite 転写によるクロマチン構造制御
3 . 学会等名 第13回エピジェネティクス研究会年会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 桑山尚大,岸雄介,西海友梨恵,後藤由季子
2. 発表標題 Elucidation of the expansion-to-neurogenic phase transition in neocortical neural progenitor cells.
3 . 学会等名 第17回幹細胞シンポジウム
4 . 発表年 2019年

1.発表者名 丁悦文,川口大地,後藤由季子
2 . 発表標題 成体神経幹細胞の胎生期起源細胞ニッチの解析
3 . 学会等名 第17回幹細胞シンポジウム
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Shima Yamaguchi,Takaaki Kuniya,Hanae Omiya,Daichi Kawaguchi,Yutaka Suzuki,Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Identification and characterization of embryonic origin of adult subventricular neural stem cells
3 . 学会等名 第17回幹細胞シンポジウム
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Shima Yamaguchi,Takaaki Kuniya,Hanae Omiya,Daichi Kawaguchi,Masahide Seki,Yutaka Suzuki,Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Investigation of transcriptional diversity of embryonic mouse neural progenitor cells in the ganglionic eminence
3.学会等名 EMBO Workshop: Single Cell Biology(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Seishin Sakai,Yusuke Kishi,Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Chromatin regulation in neocortical deep-layer excitatory neurons during differentiation
3. 学会等名 EMBO Workshop : Single Cell Biology(国際学会)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名
Tomohiko Okazaki,Moe Inoue,Shinpei Toyoda,Yukiko Gotoh
고 강士+프B5
2. 発表標題
division of labour for the type ? interferon and apoptosis induction after viral infection
3 . 学会等名
EMBO:Single cell biology (国際学会)
4. 発表年
2019年
1.発表者名
大宮英恵,山口詩真,國屋敬章,渡辺智幸,川口大地,後藤由季子
2.発表標題
Fate determination of ependymal cells and adult neural stem cells during brain development.
3 . 学会等名
第12回神経発生討論会
4. 発表年
2019年
1.発表者名
方凌艶,國屋敬章,川口大地,後藤由季子
2.発表標題
成体神経幹細胞の起源細胞の形成・維持における細胞外基質制御因子TIMP3の機能解析
a. W.A. bir In
3.学会等名
第12回 神経発生討論会
4.発表年
2019年
1
1.発表者名 Yukiko Gotoh
TUKTKU GUTUH
2.発表標題
'Life Science Alliance Journal Lecture' Regulation Of Neocortical Neural Stem/Progenitor Cell Fate During Development.
3. 学会等名
2nd Neurogenesis Conference (Plenary lecture)(招待講演)(国際学会)
4.発表年
4 . 允衣牛 2019年
201 3 +

77 46 44 46
1. 発表者名
Yukiko Gotoh
2.発表標題
Chromatin-level regulation of neural stem/progenitor cell fate.
3. 学会等名
2nd IRCN International Symposium(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2018年
1.発表者名
桑山尚大,西海友梨恵,岸雄介,後藤由季子
2 . 発表標題
Elucidation of the expansion-to-neurogenic phase transition in neocortical neural progenitor cells.
3 . 学会等名
次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム
4.発表年
2018年
1.発表者名
方凌艶,國屋敬章,川口大地,後藤由季子
2 . 発表標題
成体神経幹細胞の起源細胞の形成・維持における細胞外基質制御因子TIMP3の機能解析
11.11 WT-1 WT-1 WT-1 WT-1 WT-1 WT-1 WT-1 WT
3.学会等名
次世代脳プロジェクト・冬のシンポジウム
4.発表年
2018年
2 √10—
1
1.発表者名 网络明亮 共上药 後藤中秀子
岡崎朋彦,井上萌,後藤由季子
2.発表標題
A division of labour for the type I interferon and apoptosis induction after viral infection.
3.学会等名
第47回日本免疫学会学術集会
4 . 発表年 2040年
2018年

1 . 発表者名 Yukiko Gotoh
2.発表標題
2. 免表標題 Regulation of neural stem/progenitor cell fate.
3 . 学会等名 National Chung Kung University (NCKU) Seminar(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Yukiko Gotoh
2. 発表標題 Regulation of neural stem/progenitor cell fate.
3.学会等名
Neuroscience Program of Academia Sinica (NPAS) Seminar(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Yujin Harada,Shohei Furutachi,Daichi Kawaguchi,Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Role of the cdk inhibitor p57kip2 in regulating the fate of embryonic neural progenitor cells.
3.学会等名 第41回日本分子生物学会(招待講演)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 桑山尚大,西海友梨恵,岸雄介,後藤由季子
2 . 発表標題 Elucidation of the expansion-to-neurogenic phase transition in neocortical neural progenitor cells.
3 . 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名
岸雄介,木下隆太,後藤由季子
2 . 発表標題 神経発生におけるペリセントロメア領域の役割
作品先上に切けるベクセクトロバク模塊の反的
3.学会等名
3 - チェザロ 第41回日本分子生物学会年会(招待講演)
4. 発表年
2018年
1.発表者名
今泉 結,渡邊 知幸,古舘 昌平,川口 大地,後藤 由季子
2.発表標題
大脳皮質発生におけるp57インプリント鎖の役割の解明
·
3.学会等名
第 4 1回分子生物学会年会
4 . 発表年 2018年
20164
1.発表者名
Hanae Omiya, Shima Yamaguchi, Takaaki Kuniya, Daichi Kawaguchi and Yukiko Gotoh
2.発表標題
Regulation of neural stem cell and its involvement in brain development.
3 . 学会等名
Japan-Asia-NIBR Drug Discovery and Translational Medicine Symposium(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2018年
1. 発表者名
Yukiko Gotoh
2 . 発表標題
Regulation of neural stem/progenitor cell fate during brain development.
- WARREN
3.学会等名
Vienna BioCenter (VBC) Seminars Seminars(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2018年

1	. 発表者名 後藤由季子
	DV. + 17-D7
2	. 発表標題 脳を創る神経幹細胞
3	. 学会等名 第26回「脳の世紀」シンポジウム 「AIと脳」(招待講演)
4	. 発表年 2018年
1	. 発表者名 Yukiko Gotoh
2	. 発表標題 Regulation of astrocyte production during neocortical development.
3	. 学会等名 The Joint Congress of the 40th Annual Meeting of Japanese Society of Biological Psychiatry and the 61st Annual Meeting of
4	the Japanese Society for Neurochemistry (招待講演) (国際学会) . 発表年 2018年
1	. 発表者名 Yukiko Gotoh
	TURTING GOLDTI
2	. 発表標題 Regulation of neural progenitor/stem cell fate during development.
	3
3	. 学会等名 Stem Cell Dynamics Throughout Life: From Development to the Adult (招待講演) (国際学会)
4	. 発表年 2018年
1	. 発表者名 大宮英恵,山口詩真,渡辺知幸,川口大地,後藤由季子
2	.発表標題
-	成体神経幹細胞と上衣細胞の系譜選択機構の解析
3	,学会等名
Λ	第30回 高遠・分子細胞生物学シンポジウム
4	. 発表年 2018年

1.発表者名 方凌艶,國屋敬章,川口大地,後藤由季子
2.発表標題 成体神経幹細胞の起源細胞の形成・維持における細胞外基質制御因子TIMP3の機能解析
3 . 学会等名 第30回 高遠・分子生物学シンポジウム
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 川口大地,後藤由季子
2 . 発表標題 自閉症早期にみられる領域特異的な大脳皮質肥大化に関わる分子機構
3 . 学会等名 新学術領域「脳構築における発生時計と 場の連携」第3回 領域班会議
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 後藤 由季子
2 . 発表標題 神経幹細胞の発生タイマー実行因子の解析
3 . 学会等名 新学術領域「脳構築における発生時計と 場の連携」第3回 領域班会議
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 後藤 由季子
2 . 発表標題 脳を創る神経幹細胞の制御メカニズム
3.学会等名 自閉症学研究会(招待講演)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名
後藤 由季子
2. 発表標題
神経幹細胞の運命制御
3. 学会等名
名古屋大学 IGER NSIセミナー(招待講演)
4.発表年
2018年
Yukiko Gotoh
2
2 . 発表標題 Regulation of neural stem/progenitor cell fate during neocortical development.
negulation of heural Stem/progenitor cert fate during heocoffical development.
3.学会等名
134th WPI-IIIS Seminar(招待講演)
4.発表年
2018年
1.発表者名
Naohiro Kuwayama, Hikaru Eto, Yusuke Kishi, and Yukiko Gotoh
2.発表標題
Regulation of neural stem/progenitor cell fate during neocortical development
3.学会等名
う・チ云寺台 International Society for Stem Cell Research (ISSCR) 2018 Annual Meeting(招待講演)(国際学会)
The state of the state o
4 . 発表年
2018年
1. 発表者名
Lingyang Fang, Yusuke Kishi, Daichi Kawaguchi and Yukiko Gotoh
2.発表標題
Regulation of neural stem/progenitor cell fate during development.
3. 学会等名
The Company of Biologists Workshop: Development and evolution of the human neocortex(招待講演)(国際学会)
4. 発表年
2018年

1.発表者名 Yukiko Gotoh
2. 発表標題 Chromatin regulation of neural stem cell fate during neocortical development.
3.学会等名 2018 Joint Meeting between The Neurodevelopmental Biology Section of The Korean Society for Molecular and Cellular Biology and Japanese Developmental Neuroscientists(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Tomohiko Okazaki,Moe Inoue,Yukiko Gotoh
2. 発表標題 A Division Of Labour For The Type 1 Interferon And Apoptosis Induction After Viral Infection.
3.学会等名 The TOLL2018 conference(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Yui Imaizumi,Tomoyuki Watanabe,Shohei Furutachi,Daichi Kawaguchi,Yukiko Gotoh
2.発表標題 Functions of the p57 imprinted allele in mouse neocortical development.
3.学会等名 第70回 日本細胞生物学会 第51回 日本発生生物学会 合同大会(国際学会)
4. 発表年 2018年
1 . 発表者名 Naohiro Kuwayama,Yusuke Kishi,Yurie Nishiumi,Yukiko Gotoh
2.発表標題 Elucidation of the expansion-to-neurogenic phase transition in neocortical neural progenitor cells.
3 . 学会等名 第70回 日本細胞生物学会 第51回 日本発生生物学会 合同大会

4 . 発表年 2018年

1.発表者名
Naoya Yuizumi,Yujin Harada,Daichi Kawaguchi,Shohei Furutachi,Yukiko Gotoh
2.発表標題
Roles of lysosomes in embryonic neural stem/progenitor cells.
3.学会等名
第70回 日本細胞生物学会 第51回 日本発生生物学会 合同大会
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
工、光衣有石 桑山尚大,西海友梨恵,岸雄介,後藤由季子
スキュンハ・ロフツンハの・「在外)・「以外出す」
2. 改字 抽屉
2 . 発表標題 Peroxisomes govern mitochondrial dynamics and the mitochondrial-dependent apoptotic pathway.
refoxisomes govern mitochondital dynamics and the mitochondital-dependent apoptotic pathway.
3 . 学会等名
第51回日本発生生物学会
4.発表年
2018年
1.発表者名
Hikaru Eto,Yusuke Kishi,Yukiko Gotoh
2.発表標題
Polycomb Group Proteins Ring1A/B regulate early-stage patterning in the telencephalic development.
3.学会等名
16th Stem Cell Research Symposium(国際学会)
4 . 発表年
2018年
1
1.発表者名 坂井 星辰,岸 雄介,後藤 由季子
水川 生水,片 雄川,皮脉 田子]
2 . 発表標題
ニューロン分化期に多数の遺伝子の発現を制御する機構の解析
3. 学会等名
第12回日本エピジェネティクス研究会年会
4.発表年
4 . 免表年 2018年
4V1VT

1. 発表者名 Naoya Yuizumi,Yujin Harada,Daichi Kawaguchi,Shohei Furutachi,Yukiko Gotoh
2. 発表標題 Roles of lysosomes in embryonic neural stem/progenitor cells.
3.学会等名 International Society for Developmental Neuroscience (ISDN) 2018 in Nara(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Yusuke Kishi,Masafumi Tsuboi,Naohiro Kuwayama,Yusuke Hirabayashi,Yukiko Gotoh
2. 発表標題 Chromatin regulation of neural stem cell fate during neocortical development.
3.学会等名 International Society for Developmental Neuroscience (ISDN) 2018 in Nara(国際学会)
4. 発表年 2018年
1 . 発表者名 Daichi Kawaguchi,Dennis O'Leary,Yukiko Gotoh
2. 発表標題 A mechanism of region-specific neocortical overgrowth relevant to autism spectrum disorder.
A mechanism of region-specific neocortical overgrowth relevant to autism spectrum disorder. 3 . 学会等名
A mechanism of region-specific neocortical overgrowth relevant to autism spectrum disorder. 3 . 学会等名 International Society for Developmental Neuroscience (ISDN) 2018 in Nara(国際学会) 4 . 発表年
A mechanism of region-specific neocortical overgrowth relevant to autism spectrum disorder. 3 . 学会等名 International Society for Developmental Neuroscience (ISDN) 2018 in Nara(国際学会) 4 . 発表年 2018年
A mechanism of region-specific neocortical overgrowth relevant to autism spectrum disorder. 3 . 学会等名 International Society for Developmental Neuroscience (ISDN) 2018 in Nara(国際学会) 4 . 発表年 2018年 1 . 発表者名 Yui Imaizumi, Tomoyuki Watanabe, Shohei Furutachi, Daichi Kawaguchi, Yukiko Gotoh

1. 発表者名 Naoya Yuizumi,Nohiro Kuwayama,Yusuke Kishi,Yukiko Gotoh
2.発表標題 Regulation of embryonic and adult neural stem cell fate.
3.学会等名 International Society for Developmental Neuroscience (ISDN) 2018(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1. 発表者名 Yujin Harada, Shohei Furutachi, Daichi Kawaguchi, Yukiko Gotoh
2. 発表標題 Role of the cdk inhibitor p57kip2 in regulating the fate of embryonic neural progenitor cells.
3.学会等名 International Society for Developmental Neuroscience (ISDN) 2018 in Nara(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Hikaru Eto, Yusuke Kishi and Yukiko Gotoh
2. 発表標題 Regulation of embryonic and adult neural stem cell fate.
3.学会等名 Cold Spring Harbor (CSH) Asia 2018, Stem Cell Crossroads (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Hideaki Tanaka,Yukiko Gotoh,Tomohiko Okazaki
2. 発表標題 Peroxisomes govern mitochondrial dynamics and the mitochondrion-dependent apoptotic pathway.
3 . 学会等名

Keystone Symposia Mitochondrial Biology(国際学会)

4 . 発表年 2018年

1.発表者名
Yuewen Ding, Daichi Kawaguchi and Yukiko Gotoh
2.発表標題
Regulation of neural stem/progenitor cell fate during development and in the adult.
2 24 4 25 2
3.学会等名
Bordeaux Cajal School 2018(招待講演)(国際学会)
A SVETT
4. 発表年
2018年
4 7V = 1×41
1.発表者名
湯泉直也、原田雄仁、川口大地、後藤由季子
2.発表標題
2 : সংবাদ্ধর Regulation of embryonic and adult neural stem cell fate.
Regulation of embryonic and adult neural Stem Cert Tate.
3.学会等名
第123回日本解剖学会総会・全国学術集会(招待講演)
为120日日平断的子公参公 王国子的宋公(1110時次)
4.発表年
2018年
2010
1.発表者名
Yusuke Kishi and Yukiko Gotoh
Tubulic NISHT drie Tuktike Geton
2.発表標題
Chromatin regulation of neural stem cell fate during neocortical development.
3 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3 . 学会等名
International Young Scientists Workshop on Neural Development and Stem Cells 2018(国際学会)
4 . 発表年
2018年
1. 発表者名
Seishin Sakai, Yusuke Kishi and Yukiko Gotoh
2.発表標題
Large-scale changes in the chromatin structure during neuronal differentiation.
Large-scale changes in the chromatin structure during neuronal differentiation.
Large-scale changes in the chromatin structure during neuronal differentiation.
3. 学会等名
3 . 学会等名 新学術領域「脳構築の時計と場」若手研究者海外連携ワークショップ
3. 学会等名

1.発表者名 桑山尚大、西海友梨恵、岸雄介、後藤由季子
2 . 発表標題 発生早期神経系前駆細胞のHMGAタンパク質群による運命制御
3.学会等名 新学術領域「脳構築の時計と場」若手研究者海外連携ワークショップ 4.発表年 2018年
1 . 発表者名 後藤由季子
2 . 発表標題 Regulation of embryonic and adult neural stem cell fate.
3.学会等名 理研エピジェネティクスセミナー(招待講演)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 後藤由季子
2 . 発表標題 神経幹細胞の運命制御
3.学会等名 立命館大学システム視覚科学シンポジウム(招待講演)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 後藤由季子
2 . 発表標題 神経幹細胞の運命制御
3. 学会等名 大阪大学微生物研究所・部員会共催ブリッジセミナー(招待講演)
4 . 発表年 2018年

1.発表者名 後藤由季子
2 . 発表標題 神経幹細胞の運命制御
3 . 学会等名 新学術領域「酸素生物学・ダイイングコード」合同若手の会(招待講演)
4.発表年
2018年
1.発表者名 城野克磨、川口大地、壷井將史、後藤由季子
a DV-t-FRE
2 . 発表標題 ポリコーム群タンパク質による視床皮質回路形成の制御
- WARE
3 . 学会等名 次世代脳シンポジウム
4.発表年
2017年
1 . 発表者名 表伯俊、ランジャコンシリパン・ダーリン、古舘昌平、川口大地、後藤由季子
- W 1707
2 . 発表標題 Layer-specific heterogeneity of astrocytes in the mouse neocortex.
. **
3 . 学会等名 次世代脳シンポジウム
4 . 発表年
2017年
1.発表者名 衛藤光、岸雄介、後藤由季子
o Weight
2 . 発表標題 - ポリス・/ # ポロスの: **** (P たらした 42 PV パカ・ラング # 1/20 P
ポリコーム構成因子Ring1A/Bを介した終脳パターニング制御
3.学会等名
次世代脳シンポジウム
4 . 発表年
2017年

1.発表者名
後藤由季子
2.発表標題
Regulation of neural stem/progenitor cell fate.
3 . 学会等名
ConBio2017(招待講演)
4.発表年
2017年
1 . 発表者名
岸雄介、壺井將史、平林祐介、衛藤光、桑山尚大、古関明彦、後藤由季子
2.発表標題
Polycomb複合体による神経幹細胞の運命制御機構
3.学会等名
ConBio2017 (招待講演)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
岡崎朋彦、後藤由季子
2.発表標題
2.光衣標題 ビタミンK依存性カルボキシラーゼGGCXによる脳内ウイルス感染時の恒常性維持機構の解析
ことして、「以口にはは、「という」という。「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、」」に、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、」」に、「は、「は、」」に、「は、「は、」」に、「は、「は、「は、」」に、「は、「は、」」に、「は、「は、」」に、「は、「は、」」に、「は、「は、」」に、「は、「は、」」に、「は、」」に、「は、「は、」」に、「は、」」に、「は、」」に、「は、「は、」」に、「は、「は、」」に、「は、」に、「は、」」に、「は、」」に、「は、」」に、「は、」」に、「は、」」に、「は、」」に、「は、」」に、「は、」」に、「は、」に、「は、」に、「は、」」に、「は、」」に、「は、」」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、これ、「は、」に、」に、は、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、
- WANGE
3. 学会等名
Conbio2017
4.発表年
2017年
1. 発表者名
西春佳、カン洪月、西川紗織、後藤由季子、樋口麻衣子
2. 発表標題
原癌遺伝子Aktによる上皮細胞間接着の制御機構の解明
3. 学会等名
Conbio2017
4 . 発表年 2017年
2011 11

1 . 発表者名 Seishin Sakai, Yusuke Kishi and Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 ニューロン分化過程におけるクロマチン構造変化
3 . 学会等名 Conbio2017
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 城野克磨、川口大地、壷井將史、後藤由季子
2 . 発表標題 ポリコーム群タンパク質による視床皮質回路形成の制御
3.学会等名 Conbio2017
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 表伯俊、ランジャコンシリパン・ダーリン、古舘昌平、川口大地、後藤由季子
衣旧俊、ププジャコプジリバブ・ダーリブ、古語自平、川口大地、復藤田子士
表面後、プラジャコフジウバフ・ダーリフ、古語自平、川口大地、後藤田子子 2 . 発表標題 マウス大脳新皮質におけるアストロサイトの多様性の解析
2.発表標題
2.発表標題 マウス大脳新皮質におけるアストロサイトの多様性の解析3.学会等名
2 . 発表標題 マウス大脳新皮質におけるアストロサイトの多様性の解析 3 . 学会等名 Conbio2017 4 . 発表年
2. 発表標題 マウス大脳新皮質におけるアストロサイトの多様性の解析 3. 学会等名 Conbio2017 4. 発表年 2017年 1. 発表者名
2. 発表標題 マウス大脳新皮質におけるアストロサイトの多様性の解析 3. 学会等名 Conbio2017 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 湯泉直也、原田雄仁、川口大地、古舘昌平、後藤由季子 2. 発表標題
2 . 発表標題 マウス大脳新皮質におけるアストロサイトの多様性の解析 3 . 学会等名 Conbio2017 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 湯泉直也、原田雄仁、川口大地、古舘昌平、後藤由季子 2 . 発表標題 胎生期の神経幹細胞におけるリソソームの機能解析 3 . 学会等名

1.発表者名
丁悦文、川口大地、原田雄仁、後藤由季子
2 . 発表標題 成体神経幹細胞の胎生期起源細胞nicheの解析
がない。「中国は中国は、「中国は、「中国は、「中国は、中国は、中国は、中国は、中国は、中国は、中国は、中国は、中国は、中国は、
3.学会等名
3.子云寺台 Conbio2017
331513 <u>2</u> 311
4. 発表年
2017年
1.発表者名
今泉結、渡邊知幸、古舘昌平、川口大地、後藤由季子
2.発表標題
大脳皮質発生におけるp57インプリント鎖の役割の解明
·
3.学会等名
Conbio2017
4.発表年
2017年
1.発表者名
Naoya Yuizumi, Yuewen Ding, Katsuma Jono, Daichi Kawaguchi and Yukiko Gotoh
2 . 発表標題
Adult neural stem cells and their embryonic origin.
3. 学会等名
Stem Cells in Disease Modeling and Therapeutics(国際学会)
4.発表年
- 4 . 光衣牛 - 2017年
1. 発表者名
木下隆太、岸雄介、鈴木伸之介、阿部訓也、後藤由季子
2.発表標題
Major satellite転写によるクロマチン構造制御
3. 学会等名
RNAフロンティアミーティング2017
4.発表年
2017年

1.発表者名 Yukiko Gotoh
2.発表標題 Epigenetic control of neural precursor cell fate.
3.学会等名 Keystone Symposia, Regenerative Biology and Applications(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Yukiko Gotoh
2.発表標題 Regulation of neural stem cell fate during development and in the adult.
3.学会等名 Italian Society for Neuroscience 2017 (plenary lecture)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Tomohiko Okazaki and Yukiko Gotoh
2.発表標題 Vitamin K-dependent -glutamyl carboxylase (GGCX) switches MAVS-mediated immune responses and protects against viral infection of the central nervous system.
3.学会等名 Cell Symposia(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Keita Kawaji, Yusuke Kishi and Yukiko Gotoh
2.発表標題 The Role of Phosphorylation of Histone H1 during Neuronal Maturation. Keita Kawaji
3.学会等名 The 72nd Fujihara Seminar: International Symposium on Molecular Mechanism of Molding and Disruption of the Epigenomes Underlying Cellular Community(国際学会)
4. 発表年 2017年

1.発表者名 Yukiko Gotoh
TUKTKO GOTON
つ マジ 主 + 亜 日 石
2 . 発表標題 Chromatin regulation during neuronal maturation in the mouse neocortex.
official in regulation during neuronal materialion in the mouse neocortex.
2 24/4/2
3.学会等名 EMBO Conference, Gene regulatory mechanisms in neural fate decisions(招待講演)(国際学会)
LINDO Contenence, belie regulatory mechanisms in hedral rate decisions (由行确决)(国际子云)
4.発表年
2017年
1.発表者名
Daichi Kawaguchi, Dennis OʻLeary and Yukiko Gotoh
2. 発表標題
A mechanism of region-specific neocortical overgrowth relevant to autism spectrum disorder.
3 . 学会等名
EMBO conference: Gene regulatory mechanisms in neural fate decisions (国際学会)
4.発表年
2017年
1 . 発表者名
Yui Imaizumi, Tomoyuki Watanabe, Shohei Furutachi, Daichi Kawaguchi and Yukiko Gotoh
2 . 発表標題
Functions of the p57 imprinted allele in mouse neocortical development.
3 . 学会等名
EMBO conference: Gene regulatory mechanisms in neural fate decisions(国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名
湯泉直也、原田雄仁、川口大地、古舘昌平、後藤由季子
2.発表標題
胎生期の神経幹細胞におけるリソソームの機能解析
3 . 学会等名
3 · チ云寺日 第29回高遠シンポジウム
4 . 発表年
2017年

1. 発表者名
城野克磨、川口大地、壷井將史、後藤由季子
2 . 発表標題 ポリコーム群タンパク質による視床皮質回路形成の制御
3.学会等名
第29回高遠シンポジウム
4 . 発表年 2017年
1.発表者名
岸雄介、平林祐介、壺井將史、衛藤光、桑山尚大、鈴木穣、古関明彦、後藤由季子
2.発表標題 クロマチン制御による神経幹細胞の運命制御機構
3.学会等名
新学術領域研究「発生時計」第2回班会議
4.発表年 2017年
1.発表者名 Yukiko Gotoh
2. 発表標題
Regulation of neural stem cell fate during development and in the adult.
3 . 学会等名 The 40th annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (lecture)(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名 川口大地、 Dennis 0 'Leary、後藤由季子
2.発表標題
自閉症における領域特異的な大脳皮質肥大化に関与するメカニズムの解析
3.学会等名 第40回日本神経科学大会
4 . 発表年
2017年

1 . 発表者名 Yujin Harada, Shohei Furutachi, Daichi Kawaguchi and Yukiko Gotoh
2. 発表標題 Role of the cdk inhibitor p57kip2 in regulating the fate of embryonic neural progenitor cells.
3 . 学会等名 第40回日本神経科学大会 2017年7月20日
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Katsuma Jono, Daichi, Kawaguchi, Masafumi Tsuboi and Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Regulation of thalamocortical connections by histone modification in the target cortical area.
3 . 学会等名 The 40th annual Meeting of the Japan Neuroscience Society(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 岸雄介、後藤由季子
2 . 発表標題 クロマチン構造変化の可視化によるニューロン分化遺伝子群制御機構の解明
3 . 学会等名 新学術領域研究「動的クロマチン構造と機能」第5回班会議
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 桑山尚大、西海友里恵、岸雄介、後藤由季子
2.発表標題 発生早期神経系前駆細胞のHMGA タンパク質群による運命制御
3 . 学会等名 第2回クロマチン動構造ワークショップ
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Baekjun Pior, Darin Lanjakornsiripan, Daichi Kawaguchi and Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Regulation of astrocyte production in the mouse neocortex.
o
3 . 学会等名 XIII European Meeting on Glial Cells 2017(plenary lecture)(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名 岸雄介、後藤由季子
2 75 主 4 第 1 天
2 . 発表標題 クロマチン制御による神経幹細胞の運命制御機構
3.学会等名
Active Motif Tokyo Chromatin Club 2nd Meeting
4.発表年
2017年
· ·
1.発表者名 樋口麻衣子、大西啓介、久保田紘史、後藤由季子
2.発表標題
2 . 発衣標題 微小管結合分子EB2/RP1による微小管動態制御
3.学会等名
3 · 子云寺石 第69回日本細胞生物学会大会
4.発表年
2017年
·
1.発表者名 岸雄介、後藤由季子
2 至 + 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
2.発表標題 マウス体節期胚への遺伝子導入法の確立
3.学会等名
新学術領域研究「生殖細胞のエピゲノムダイナミクスとその制御」「ステムセルエイジングから解明する疾患原理」「動的クロマチン構造 と機能」3領域合同若手勉強会2017
4 . 発表年
2017年

1.発表者名 衛藤光、岸雄介、後藤由季子
יין אייניינינינינינינינינינינינינינינינינינ
2 . 発表標題 ポリコーム構成因子による神経系前駆細胞の制御
3.学会等名 新学術領域研究「生殖細胞のエピゲノムダイナミクスとその制御」「ステムセルエイジングから解明する疾患原理」「動的クロマチン構造 と機能」合同若手勉強会2017
4 . 発表年 2017年
1.発表者名
Shima Yamaguchi, Yujin Harada, Takaaki Kuniya, Daichi Kawaguchi, Shohei Furutachi and Yukiko Gotoh
2 . 発表標題
Emergence of embryonic origin of adult neural stem cells.
3.学会等名
5. 子云守口 EMBO Conference, Advances in Stem Cell and Regenerative Medicine(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1
1 . 発表者名 岸雄介、平林祐介、衛藤光、桑山尚大、鈴木穣、古関明彦、後藤由季子
2 . 発表標題
クロマチン制御による神経幹細胞の運命制御機構
3.学会等名
第11回日本エピジェネティクス研究会年会
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名
後藤由季子
2. 発表標題
脳を作る神経幹細胞の運命制御
3.学会等名
東京大学生命科学シンポジウム(招待講演)
4 . 発表年 2017年

1.発表者名
衛藤光、岸雄介、後藤由季子
2.発表標題
ポリコーム構成因子 Ring1A/B による発生早期の神経系前駆細胞の制御
3 . 学会等名
第17回東京大学生命科学シンポジウム
4 . 発表年
2017年
1 . 発表者名
後藤由季子
KWH+1
2.発表標題
脳を作る神経幹細胞の運命制御
四で〒の伊族学和他の建印列岬
3 . 学会等名
第 5 4 回日本臨床分子医学会学術集会(招待講演)
A SVET
4.発表年
2017年
· Water
1.発表者名
Yukiko Gotoh
2.発表標題
Special Lectures/Regulation of Neural stem cell fate during development and in the adult
3 . 学会等名
Society for Neuroscience 46th Annual Meeting, (招待講演) (国際学会)
4.発表年
2016年
•
1.発表者名
Yukiko Gotoh
I WILLIAM VOLUM
2 . 発表標題
Regulation of neural stem cell fate during development and in the adult
logaration of hourar otom out rate during development and in the addit
3.学会等名
3 . チェマロ 第14回RCGMフロンティア国際シンポジウム(招待講演)(国際学会)
ઋ I+凹ハ∪Ⅷノロノノ1ヶ凹际ソノハンソム(加付确供)(国际子云)
A
4. 発表年
2016年

1 . 発表者名 Yukiko Gotoh
2 . 発表標題
2 . 完衣信題 Regulation of Neural stem cell fate during mouse development
3 . 学会等名 EMBO workshop Neural Function and Cell Fate Choice(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名
Yukiko Gotoh
2. 発表標題
Litrinsic and Extrinsic Regulators of Neural Stem Cells
3 . 学会等名 Gordon Research Conference, Neural Development (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年
1. 発表者名
Yukiko Gotoh
2 . 発表標題 Regulation of neural stem cell fate during mouse development,
3.学会等名
Gordon Research Conference, Molecular & Cellular Neurobiology(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2016年
1 . 発表者名 Yukiko Gotoh
2 . 発表標題
Molecular Mechanisms Regulating the Neurogenic Stem Cell Niche in the Embryo and Adult Brain
2. 当人生々
3 . 学会等名 18th International Neuroscience Winter Conference(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2016年

1.発表者名 後藤由季子
2.発表標題 脳を作る幹細胞の運命制御
3 . 学会等名 第 6 回東北ウインタースクール(招待講演)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 後藤由季子
2 . 発表標題 神経幹細胞の運命制御
3. 学会等名 科学技術交流フォーラム(招待講演)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 後藤由季子
2.発表標題 Regulation of neural stem cell fate by intrinsic and extrinsic factors
3.学会等名 第39回日本分子生物学会年会(招待講演)
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 後藤由季子
2.発表標題 神経幹細胞の運命制御
3.学会等名 六甲医学研究会(招待講演)
4.発表年 2016年

1 . 発表者名	
後藤由季子	
2 . 発表標題	
Regulation of neural stem cell fate during development and in the adult	
3 . 学会等名	
熊本大学リエゾンラボ研究会(招待講演)	
4 . 発表年 2016年	
20104	
1 . 発表者名	
後藤由季子	
2.発表標題	
脳発生および成体における神経幹細胞の運命制御 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
3.学会等名	
第136回奈良医学会(招待講演)	
4 . 発表年	
2016年	
1.発表者名	
後藤由季子	
2 7V ± 4 = 175	
2 . 発表標題 神経幹細胞の運命制御、タイムシグナルと制御シンポジウム	
作能料制心V達印的呼、ブイムファブルと的師ファバファム	
3 . 学会等名 筑波大学下田臨海実験センター(招待講演)	
巩版八子下田崎/母夫駅センツー(指付講/典)	
4 . 発表年	
2016年	
[図書] 計2件	4 254=/ -
1.著者名 青山幸恵子、後藤由季子、岡崎朋彦	4 . 発行年 2017年
自山丰志」、夜膝山子」、凹岬加彦	2017-
	F (4) -9 > ***
2. 出版社	5 . 総ページ数 6(57-63)
科学評論社	0 (31-03)
3 . 書名	
「ウイルス感染に対する 型インターフェロン産生と細胞死誘導の使い分け機構の解析 (特集 ウイルスに	
対する免疫反応)」臨床免疫・アレルギー科	

1.著者名 木下隆太、岸雄介、後藤由季子		4 . 発行年 2017年
2.出版社		5.総ページ数
医薬ジャーナル		7 (815-822)
3.書名 「神経幹細胞の運命制御におけるIncRNAの役	と割」CLINICAL CALCIUM	
〔産業財産権〕		
〔その他〕		
研究室ホームページ http://www.f.u-tokyo.ac.jp/~molbio/		
_6 . 研究組織		
氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
7 . 科研費を使用して開催した国際研究集会		

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------